

- クリチバ治安情報(当館から1.5kmの路上で発見された手榴弾)
- クリチバ治安情報(当館至近のバスターミナルにおける銃撃事件の発生)
- 感染症関連情報(パラナ州におけるインフルエンザ予防接種キャンペーンの開始)

- クリチバ治安情報(当館から1.5kmの路上で発見された手榴弾)

4月29日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、クリチバ市ヘボウサス地区(当館所在テナントビルより1.5km)路上において手榴弾が発見された旨報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

4月29日午前11時20分頃、クリチバ市ヘボウサス地区の銀行員労働組合文化広場(Rua Piquiri)前の路上において通行人が手榴弾を発見した。通報を受けた軍警察は、特殊部隊を派遣し手榴弾(安全装置は未解除)を撤去した。市民警察は、入手先を捜査中である。

- クリチバ治安情報(当館至近のバスターミナルにおける銃撃事件の発生)

4月27日付当地パラナ・オンライン紙は、クリチバ市セントロ地区のグアダルペ・バスターミナル(総領事館から100mに位置。)において男性が銃撃された旨報じているところ、以下のとおりお知らせします。

1. 4月27日5時40分頃、クリチバ市セントロ地区のグアダルペ・バスターミナルにおいて男性(23歳、ピザ配達員)に対する銃撃事件(目及び首に被弾)が発生した。尚、被害者は、同バスターミナルよりバスにて帰宅する従妹を私用車にて送るために駐車したところ、後方に停車した犯人が乗る車輛より銃撃されたもの。

2. 警察側によると市側提供防犯カメラ映像に4人が乗車した犯行車両が映っていたので、犯人逮捕に向け引き続き捜査中である。なお、被害者はカジュル病院に搬送されるも、容体は安定している。

- 感染症関連情報(パラナ州におけるインフルエンザ予防接種キャンペーンの開始)

1. 4月25日、パラナ州保健局は、5月5日より開始する「インフルエンザ予防接種キャンペーン」につきサイトに掲載したところ、概要を以下のとおりお知らせします。

(1) 「インフルエンザ予防接種キャンペーン」実施概要

(ア) 期間：2012年5月5日から5月25日

(イ) 接種場所：各保健所(但し、5月5日のみ公園や店舗等においても予防接種ポストを設置する)

(ウ) 対象者：妊婦、幼児(生後6ヶ月から2歳未満まで)、60歳以上の高齢者、先住民、被拘禁者及び病人等と直接接触する医療関係者。(注：2歳未満の幼児に対する接種は30日間隔で2回に分けて実施)

(2) パラナ州対象者人口は160万人であり、同保健局は右8割(約130万人)を接種目標としている。本件インフルエンザ予防接種キャンペーンは、当国で最も感染すると予見されるインフルエンザウィルス3種類(A型インフルエンザであるH1N1型、H3N2型及びB型インフルエンザ)を接種するもの。

(3) 同ワクチン接種につき、以前に同ワクチン又は卵による激しい反応を示した者、アナフィラキシー反応があった者及び中・高熱患者は容体の安定まで予防接種を控えるべし。

2. なお、クリチバ市内における有料インフルエンザ予防接種民間施設情報は次のとおり。

(1) Cevaccine

Rua Brigadeiro Franco, 974

Tel: (41) 3322-9696 / 3323-9292

<http://www.cevaccine.com>

(2) Protecao Vacinas

Avenida Batel, 1230 - cj. 303

Tel: (41) 3342-8705

[vacinas@protecaovacinas.com.br](mailto:vacinas@protecaovacinas.com.br)

(3) Frischman Aisengart Medicina Diagnostica Unidade Batel II

Rua Alferes Angelo Sampaio, 1299

Tel: 4004-0103

<http://www.labfa.com.br>

(4) Centro de Vacinas do Hospital Pequeno Principe

Rua Desembargador Motta 913,

Tel: (41) 3310-1141 / 3310-1414

<http://www.hpp.org.br/centro-de-vacinas>